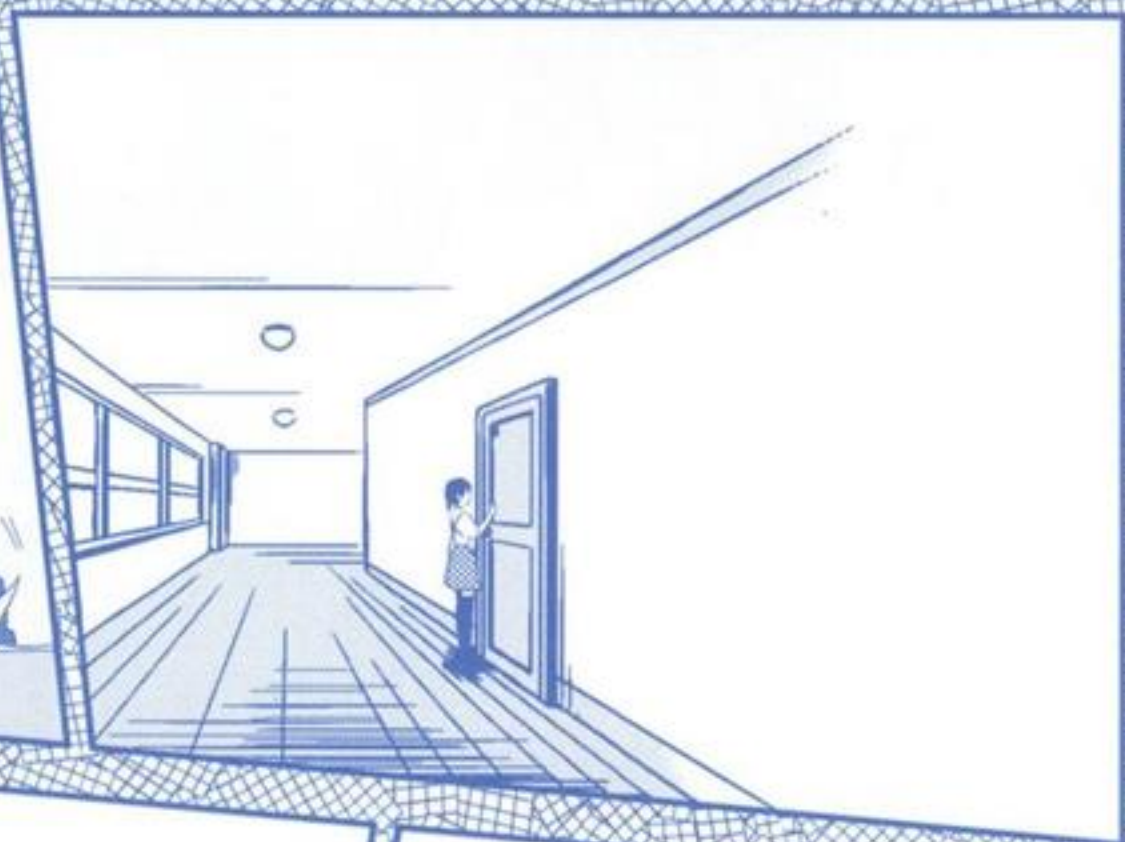
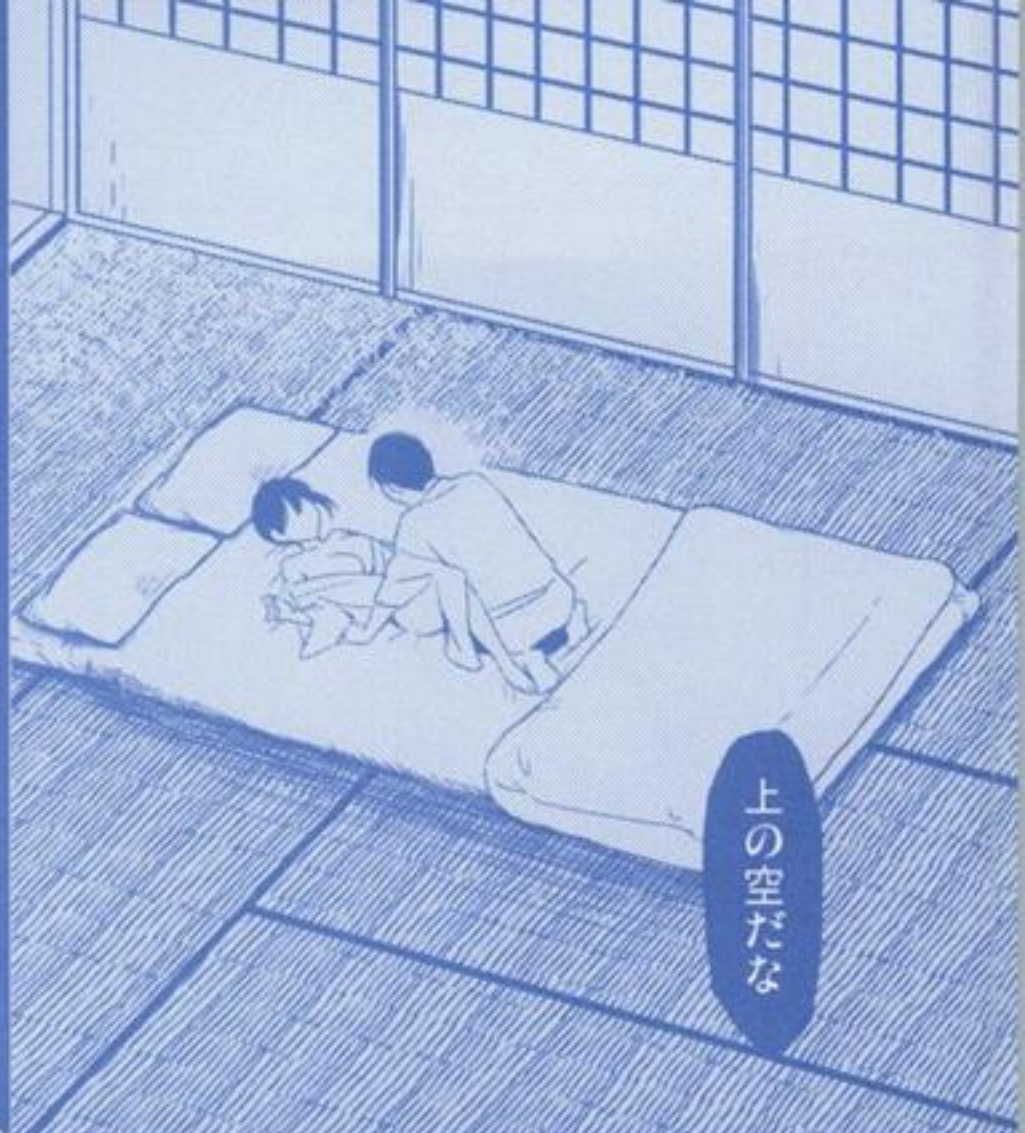


ソ  
ノ  
ゴ  
ノ  
ニ  
イ  
ヅ  
マ  
カ  
ツ  
コ  
カ  
ガ

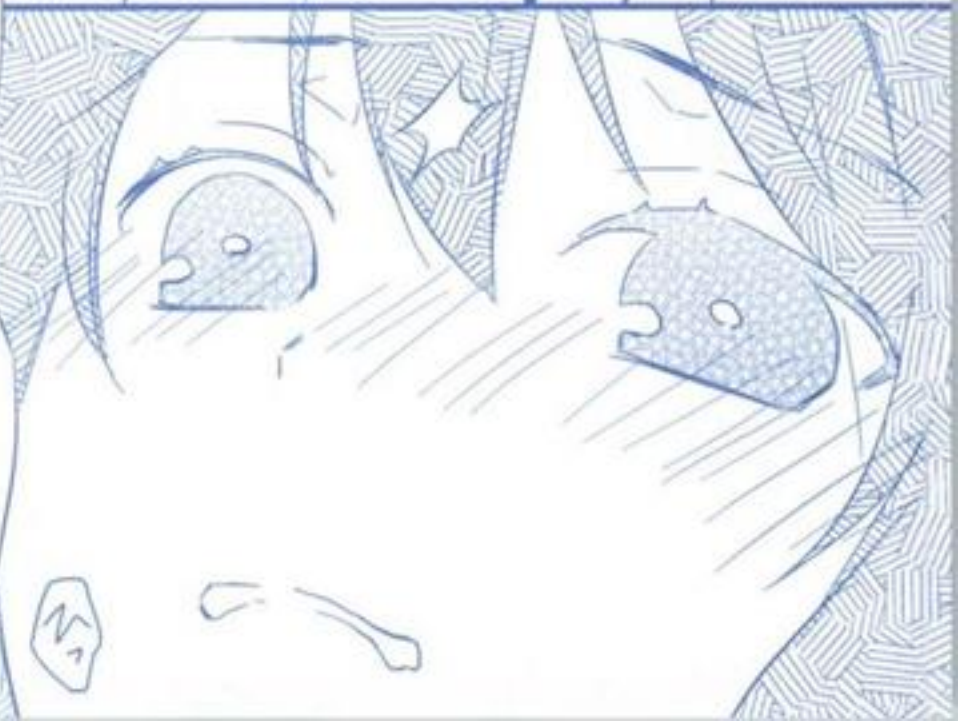
R  
18







体も強張っている



ここはこんなに  
柔らかいのに



二本入った

一言余計だわ、っ



……

!

加賀はもう我慢  
できないんだな

後ろからだなんて

やっ

ヤッ!!

ぬ  
139

おっ  
おっ

おっ  
おっ

エエエエ  
エエエエ

ん!!

犬みたいなの

どうだ？  
いつもと違うか？

ははは  
あはあ

ニ  
ニ

ニ  
ニ

ニ  
ニ  
ニ  
ニ



腔越しに背骨を  
撫でられてる

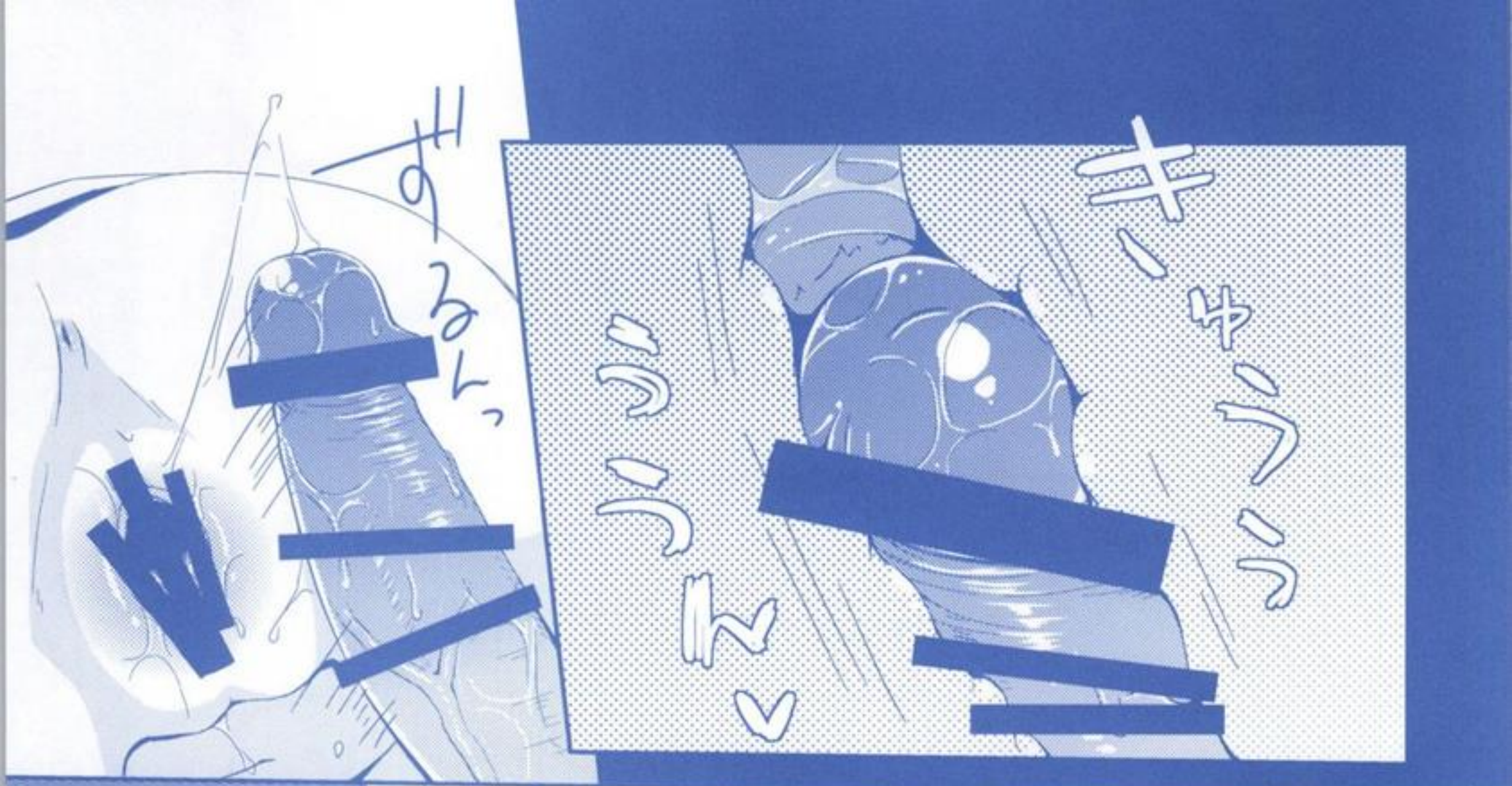


なかに……

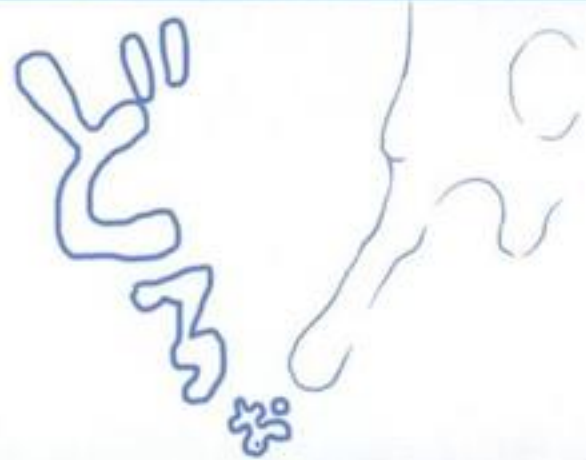
~~~~~

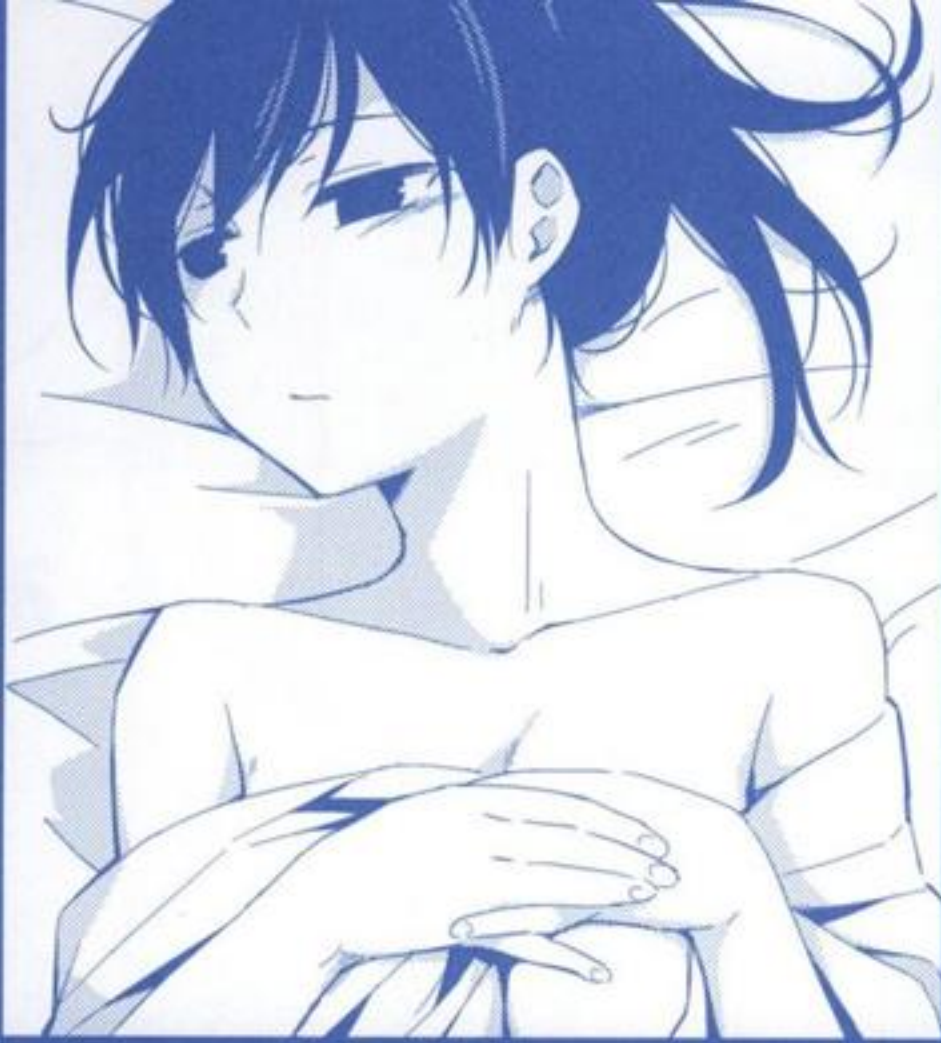
(は)

(は)

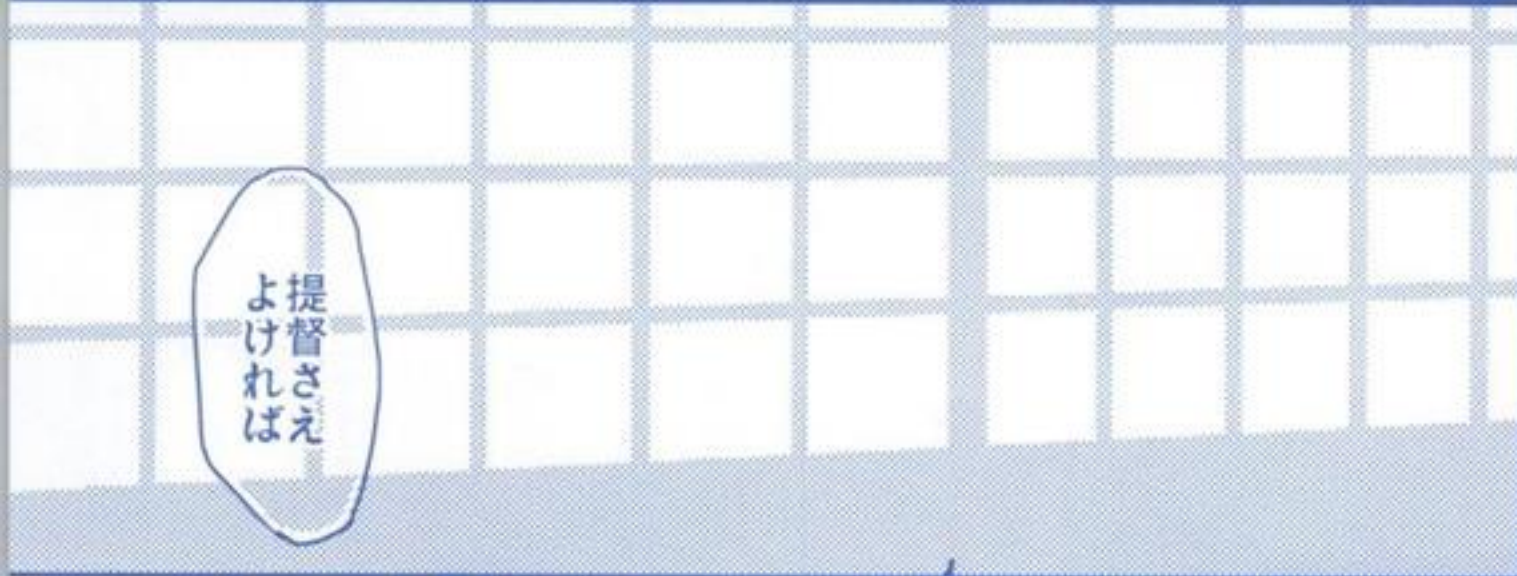








どうした



提督さえ  
よければ



なんだ  
足りないのか？



こうか？



ちがっ



っ

はっはっ

っ

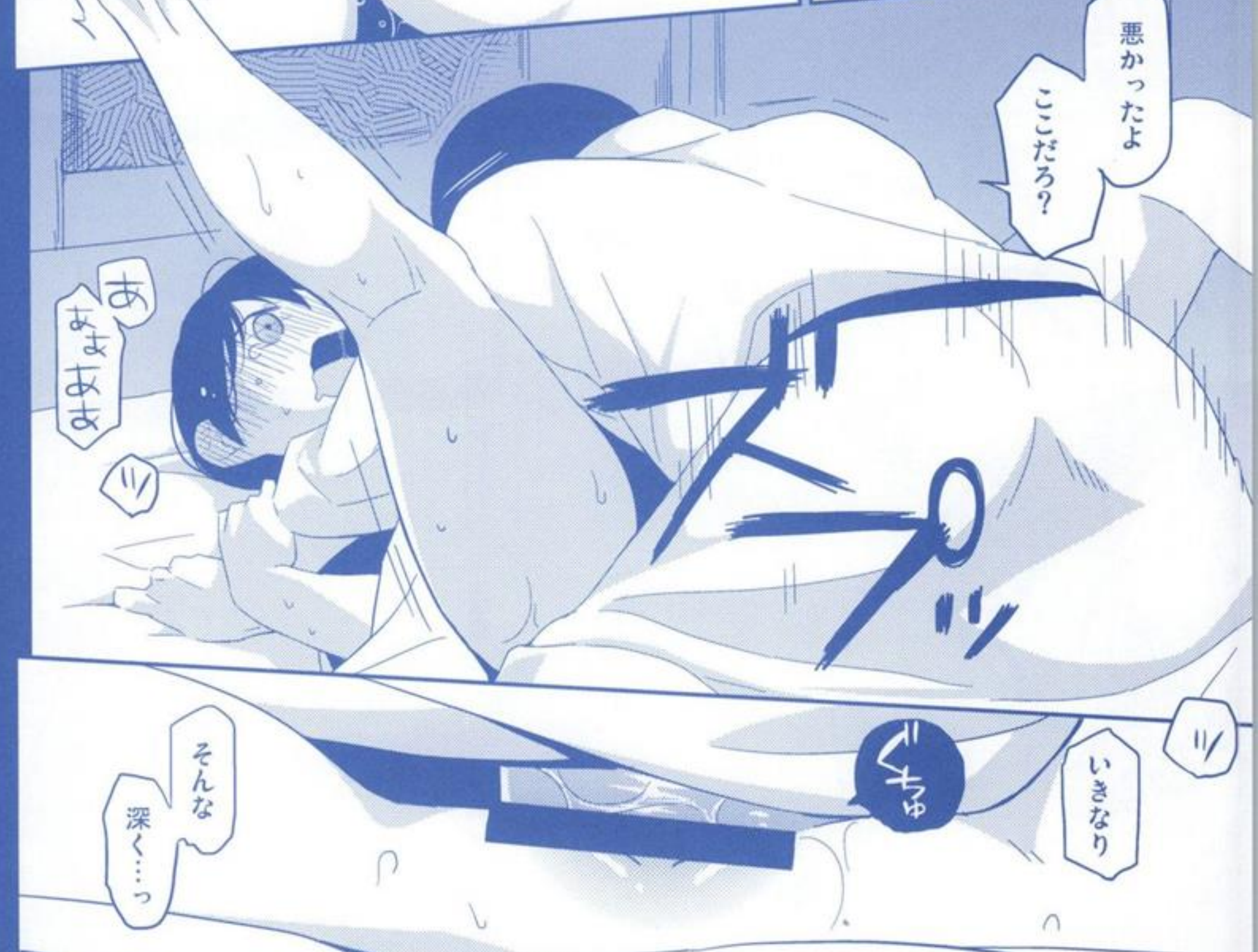


はっはっ

はっはっ  
はっはっ

はっ

はっはっ



悪かったよ

ここだろ？

はっはっ  
はっはっ

はっ

いきなり

はっはっ

そんな

深く……っ





今度こそ  
おくとっ

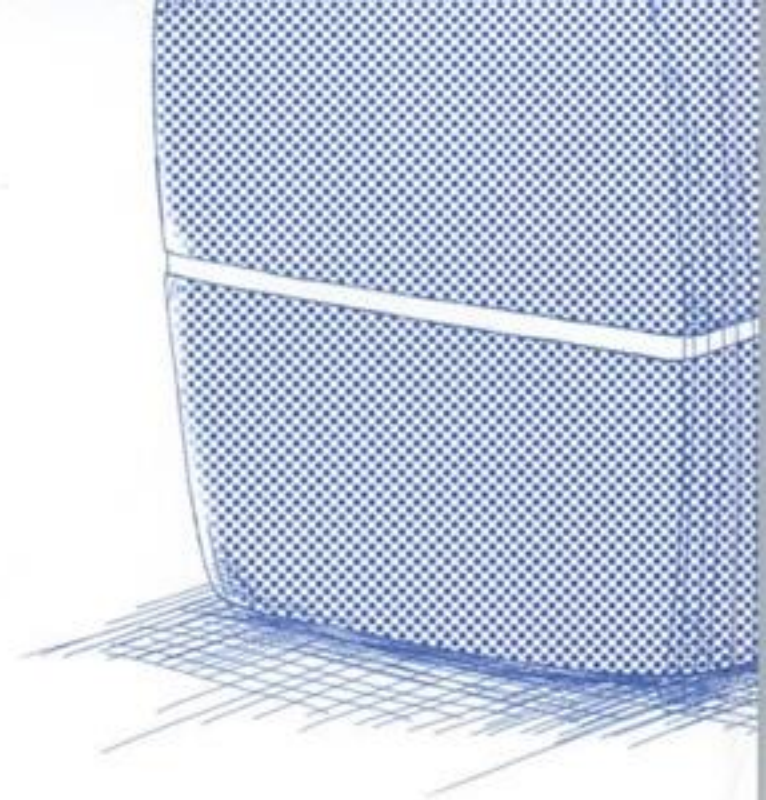
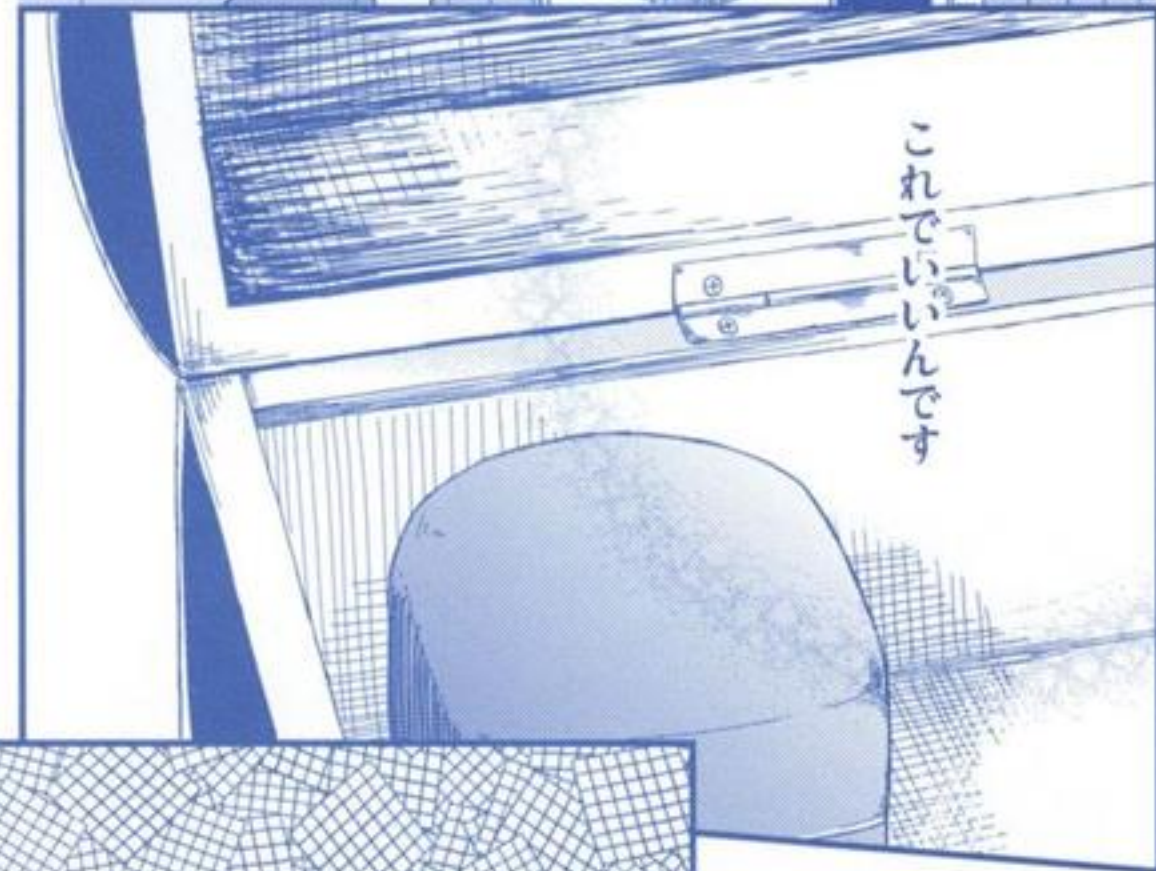
ヒヒヒヒ  
ヒヒヒヒ

ヒヒヒヒヒヒ

びびびびびび

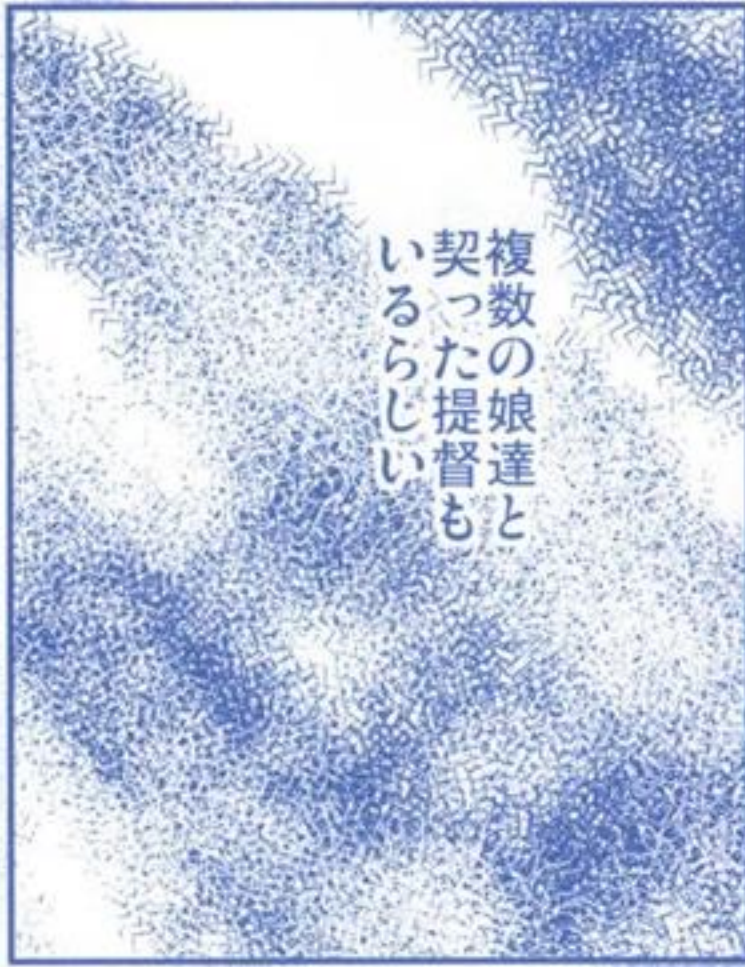
びびび

フク...

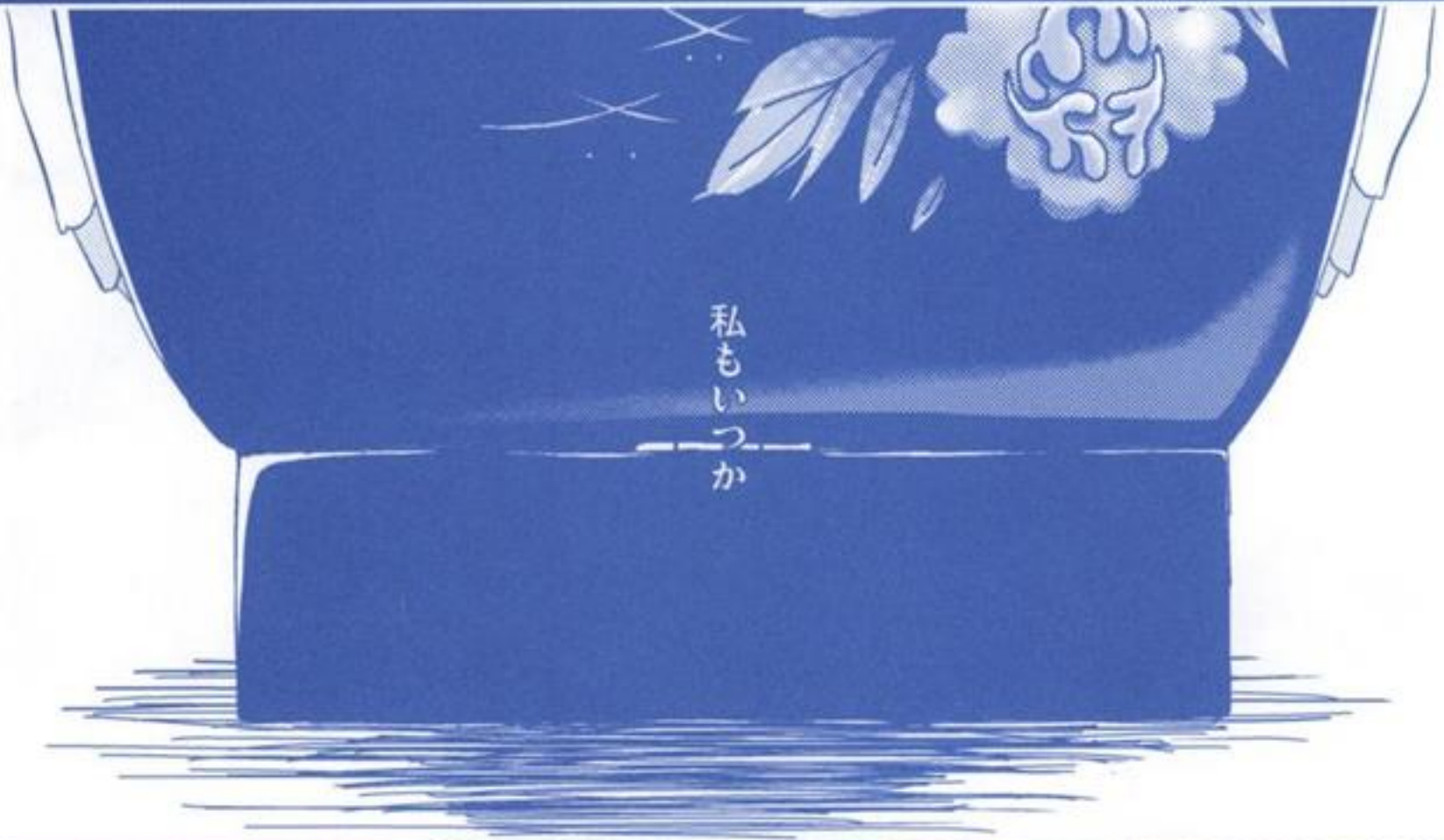


あの日受け取った  
指輪は少し大きすぎた

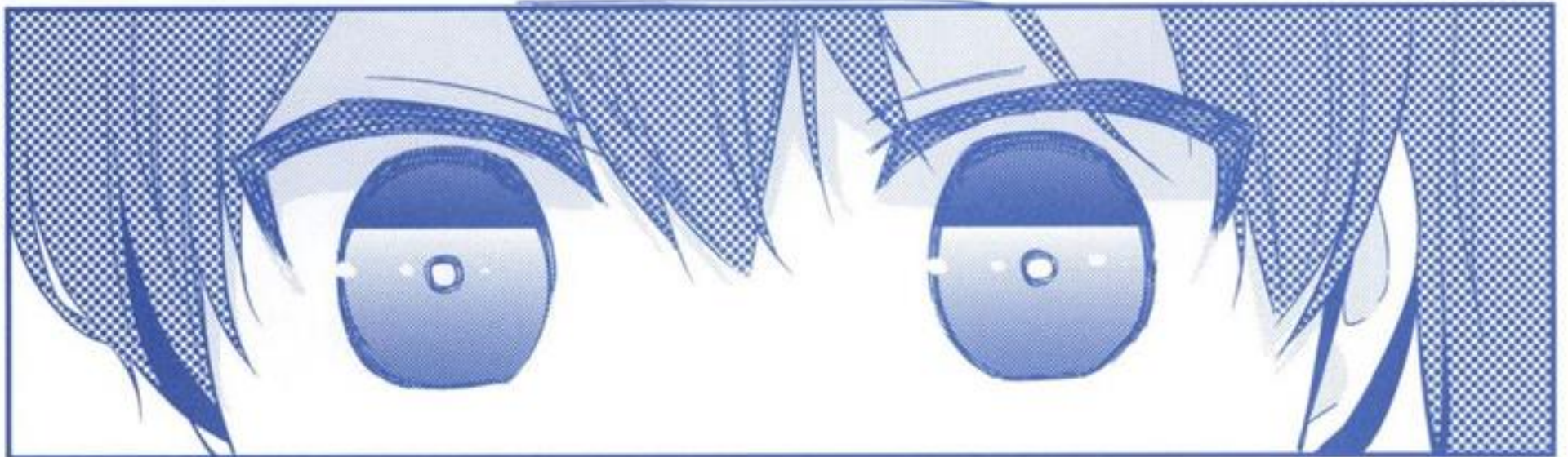




複数の娘達と  
契った提督も  
いるらしい



私もいつか







あれ?



加賀さん？

加賀さん！  
そんなに急いで  
どうしたんですか？

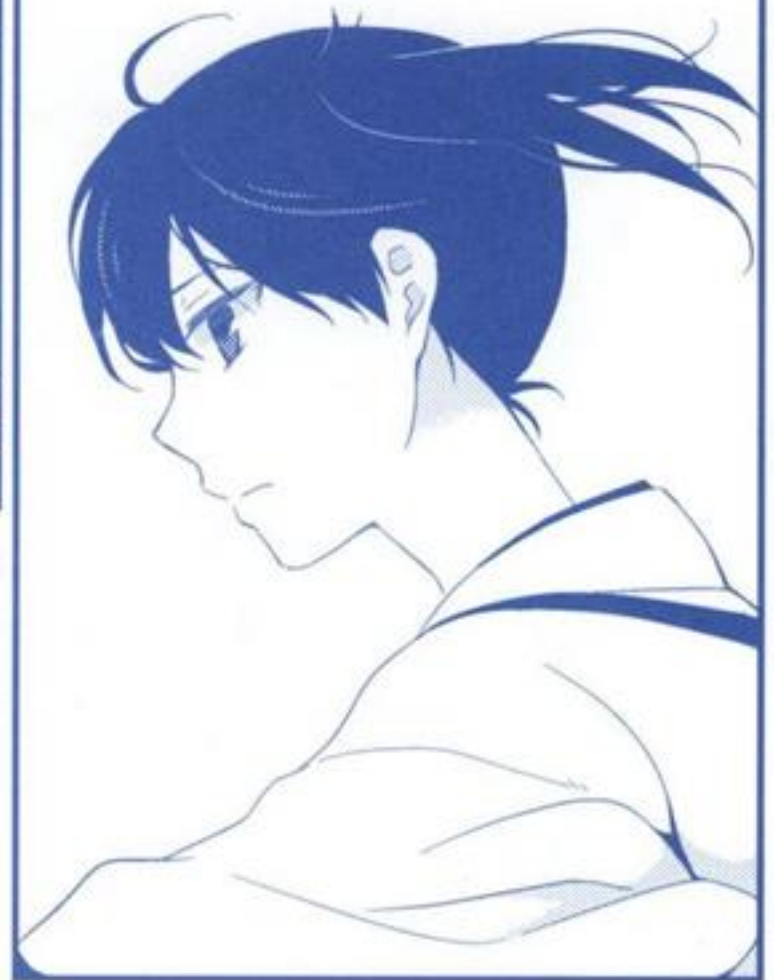
ちやうど  
よかったわ

貴方達  
提督が今どちらに  
いるか分かって？

ご主人様なら  
多分、お部屋に

連っ

あ



あの指輪

新しく妻を  
迎えるのかと  
思っていたけれど



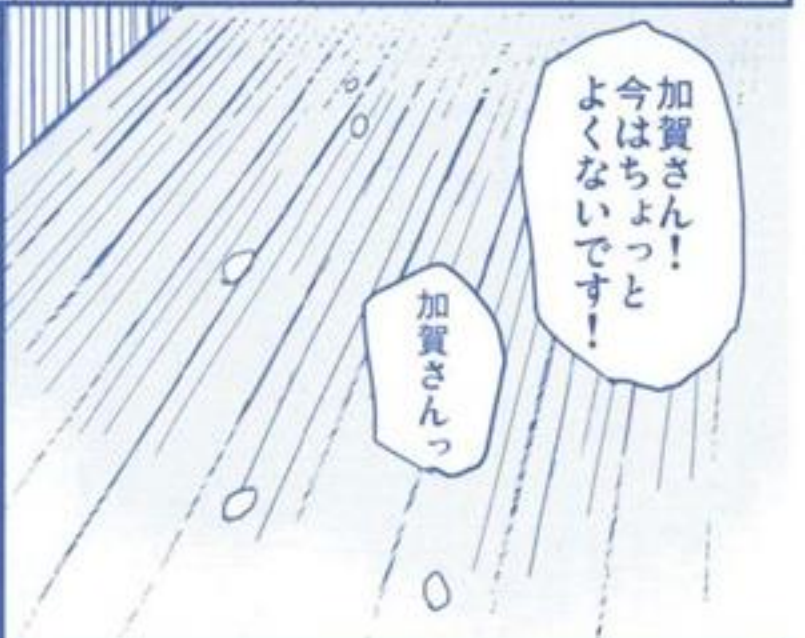
貴方達  
何で着いてくるの

私たちもごつちに  
用があるんです！

加賀さん！  
今はちよっと  
よくないです！

加賀さんっ

どうしてですか  
提督



あれは  
私の……



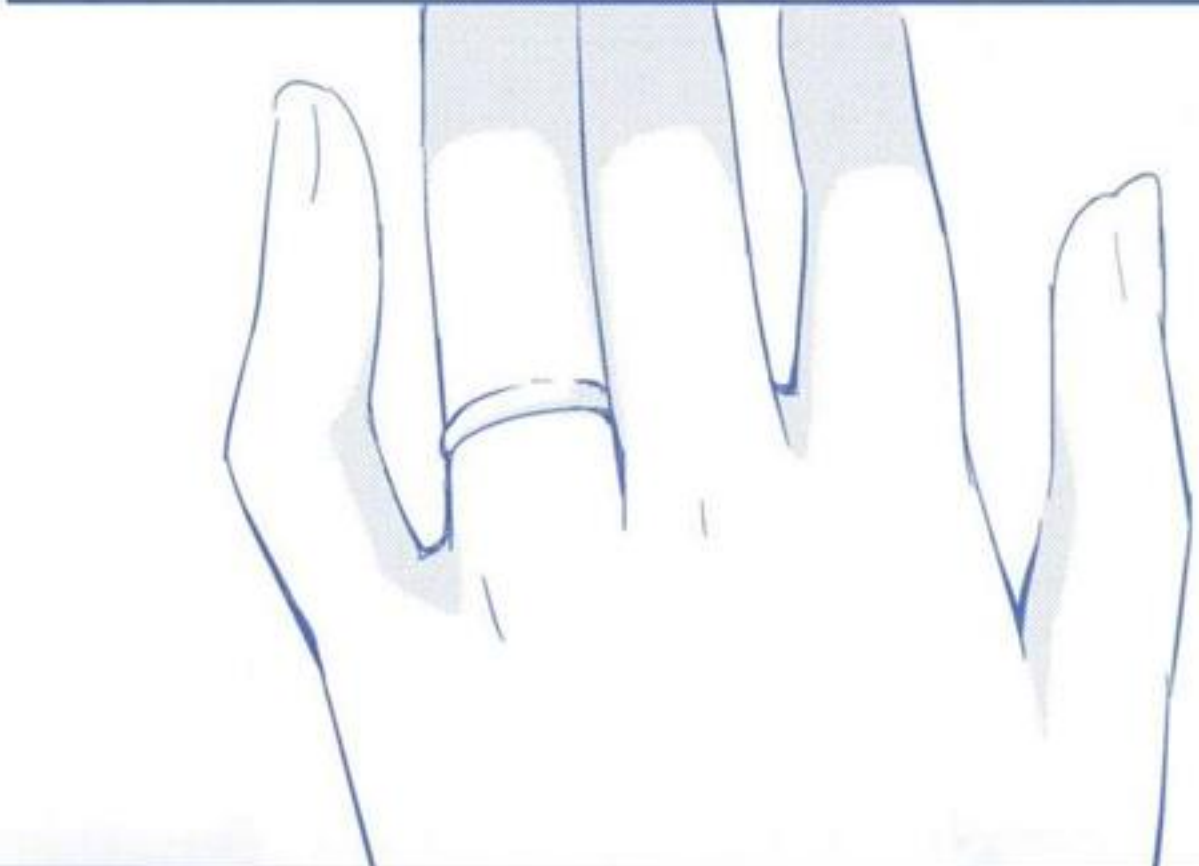
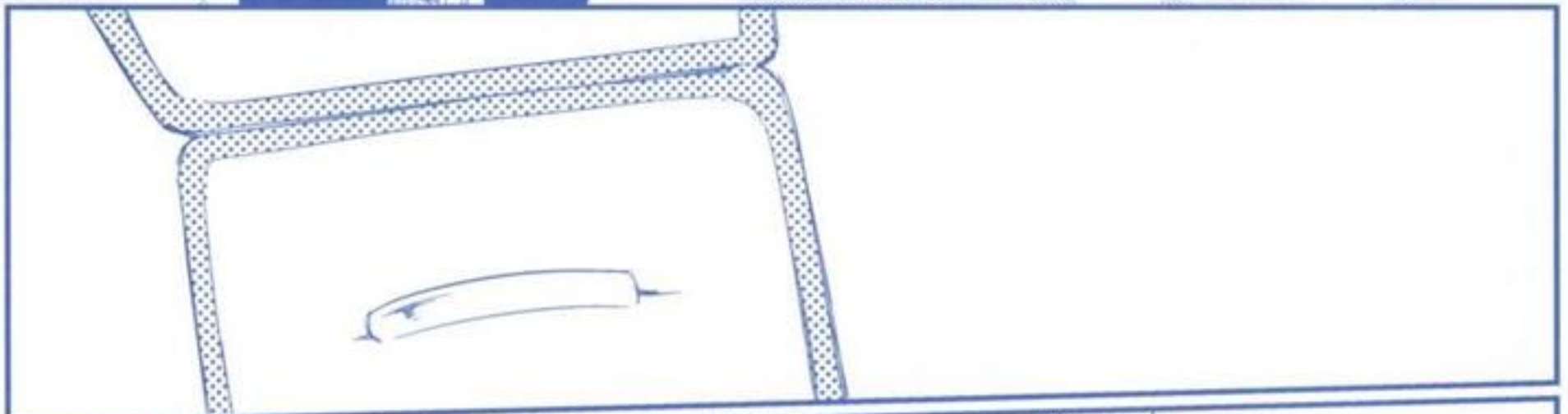




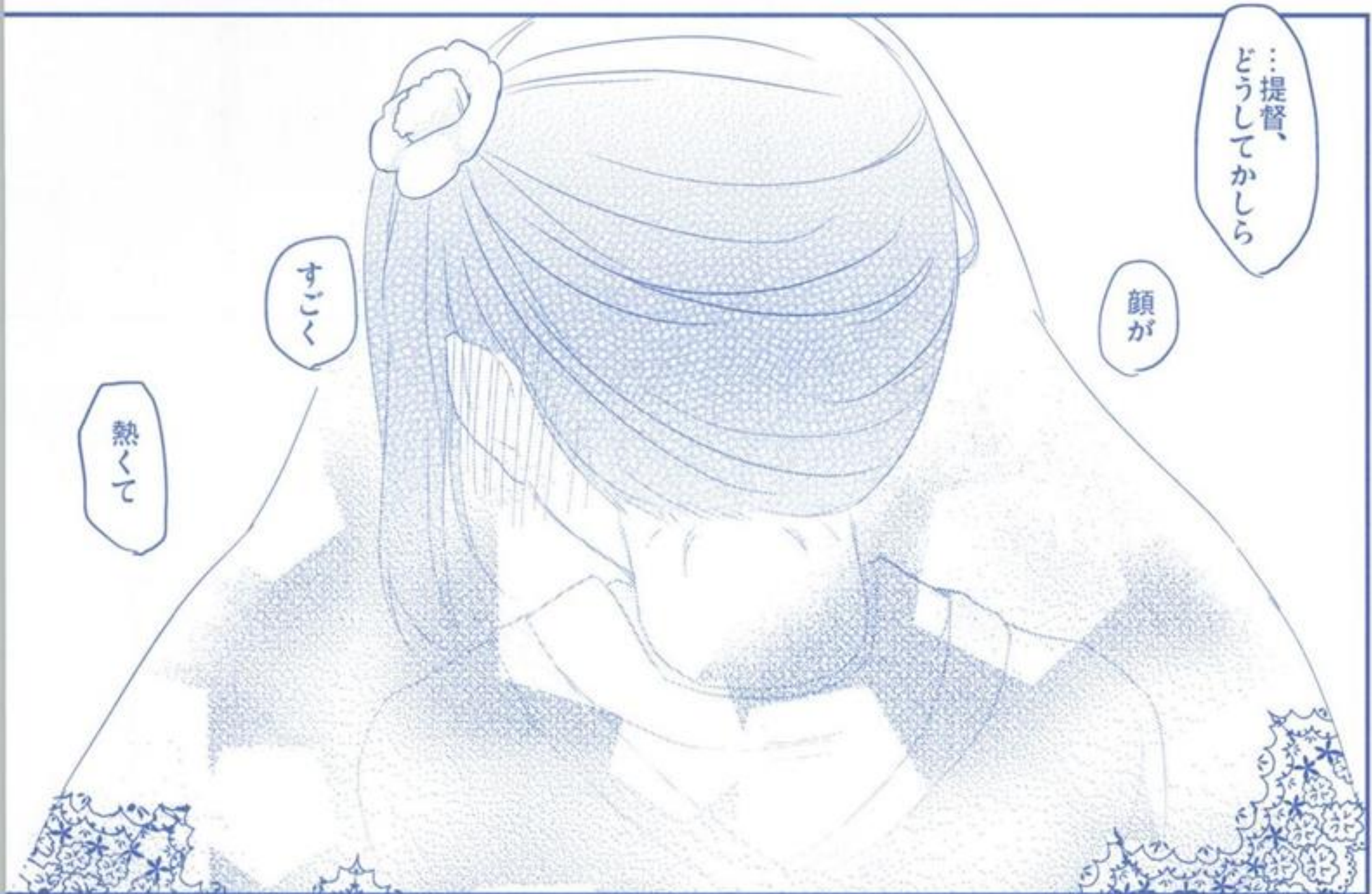
その…

改めて  
受けて  
くれる  
か？

無断で持ち出して  
悪かった



今度こそ  
ちゃんと嵌ったな



提督、  
どうしてかしら

顔が

すごく

熱くて



お前…  
ニニ



道理で



ニニ

ニニ



耳まで真っ赤だぞ

!



不束ではありますが

加賀  
実はだな



互いにする  
ものなんだろう？

指輪が  
もう一つ…？

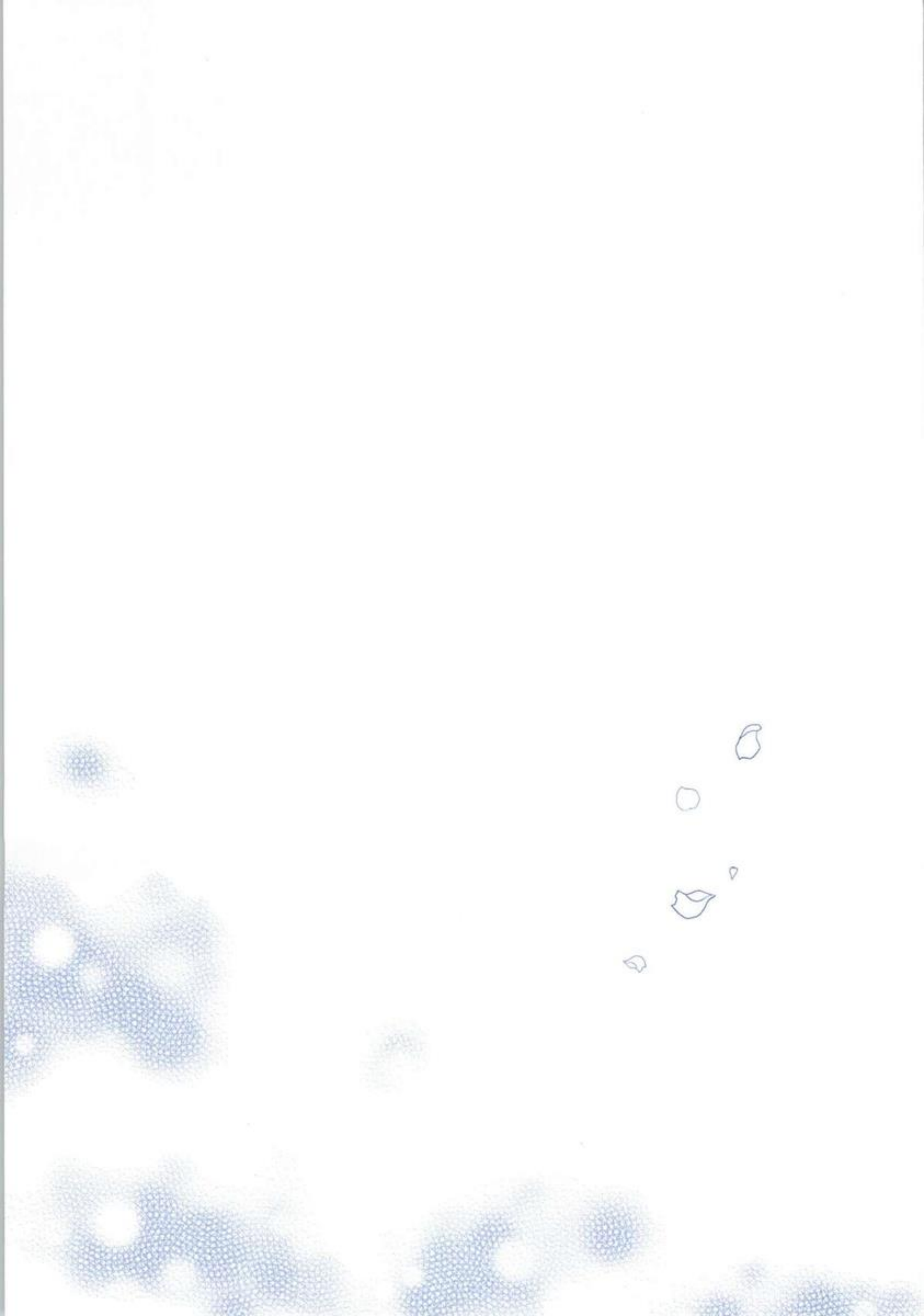


末永く頼む



ええ









二〇一四年八月十七日  
ヒツジ一 番搾り



# その後の新妻(加賀)